

営農続けるための備え



三原市 中村 淳さん（40歳）

田舎に引っ越したいなと思い、たまたま地図を開いたとき、瀬戸内の佐木島を見つけました。地域おこし協力隊に採用されたことも後押しになり、2022年4月に移住して、その活動と並行して農業をしています。

東京都出身で、11年から茨城県で農業経営をしていました。台風で防風ネットが倒壊し大雨で畑が冠水して、収入が大きく減少したことがありました。自然災害の恐ろしさを痛感し、収入保険に加入しています。

現在、茨城での経営は移譲しましたが、移住直後は従業員に管理を任せ、私は広島に専念。瀬戸内特有の気候や真砂土での野菜作りが心配だったので、両県分の経営を合わせて収入保険に加入しました。

22年は、茨城で豪雨や台風による被害で収入が半分以下に。資材費や肥料代が高騰していたので、保険金を受け取ることができて助かりました。

今後も佐木島で規模を拡大したいと考えています。新たな設備投資や自然災害は経営リスクに直結します。将来にわたり営農できるように収入保険で備えたいです。

▷野菜1畝（ニンジン、ルッコラ、ミズナなど）、かんきつ15畝